

Book Review

評者：篠原千鶴子 東京都立広尾看護専門学校校長

看護教育のためのオンライン活用 エッセンス 授業・研修に使える仕掛け〔Web動画付〕

編著：政岡祐輝、北別府孝輔、山田修平／発行：医学書院

定価：2860円（本体2600円＋税10%）



看護の学習目標に合わせたオンライン活用のヒントが満載

2019年から始まったコロナ感染対策が緩和し始め、教育機関では通常の対面授業が行われるようになりました。対面授業が行えるのはよいことですが、コロナ禍を契機に整備されたオンライン教育の環境や、教員たちが覚えたICTスキルを埋もれさせてしまうのはもったいない。学習目標に合わせてオンラインを効果的に活用した教育ができないものかと、新たな欲求が出てきました。そのような時、本書に出会いました。

本書は、単にオンライン授業の方法論を解くのではなく、オンラインを活用した授業設計ができるように構成されています。パフォーマンス評価や逆向き設計論、協同学習の考えも取り入れ、オンライン授業のみならず、対面授業でも授業の質を上げるために活用できる一冊となっています。

序章では、学習目標からその授業で到達させたいレベル、すなわち、評価すべきことは何かを明確にし、第1章「知識を届ける」では、知識を効果的に学習者に届けるためのオンライン活用と資料作成の工夫、第2章「思考・コミュニケーションを鍛える」では、グループワークを効果的に進めるためのさまざまな方略について、第3章「実践につなげる」では、オンラインで実践力を伸ばすためのシミュレーション演習やロールプレイ演習の具体例、第4章「学びの効果（成果）を測る」では、次の学びにつながる学習成果の測定や

フィードバックの方法について紹介されています。

また、本書には、34本のWeb動画付録がついています。この「おまけ」が実に充実しています。オンライン授業で活用できる便利なデジタルツールの紹介から、今さら人に聞けないパソコンの基本操作、Word・Excel・PowerPointの活用法、アンケートや小テスト機能で使えるGoogleフォームの使い方、オンライン教材の作成事例等々、幅広い内容の動画を本書で内容を確認しながら視聴できるようになっています。

なかでも、本文に掲載されている「消化器疾患の術後急性期の看護におけるシミュレーション演習」は、Web動画として実際のオンライン演習風景が紹介されており、大掛かりな機材がなくても、「オンライン演習はこんなふうにすればよいのか」「できる、やってみよう！」と思える内容になっています。

オンライン教育に関する書籍がたくさん出回るなか、看護教育の現状を理解した著者らが執筆されているものにはなかなか巡り合いません。本書は、オンライン教育の充実を図りたいと考えている看護教育に携わる先生方に大いに役立つお薦めの一冊です。